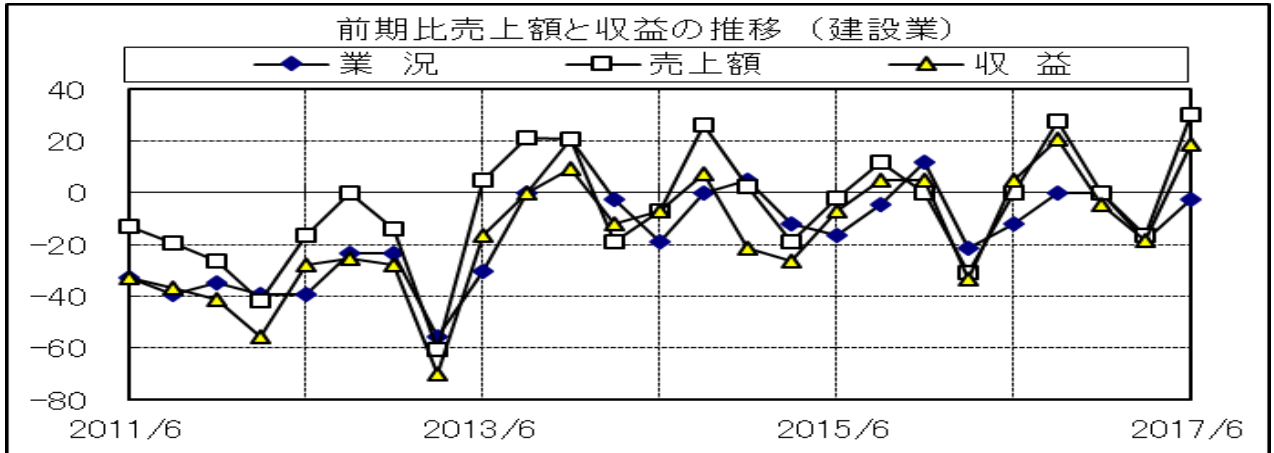


# 建設業 43 企業 (回答率 100.00%) の調査結果です

## □ 景 況

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
業 況	0.0	-18.6	-2.4	7.0
売上額	0.1	-16.3	30.2	16.3
収 益	-4.7	-18.6	18.5	9.3

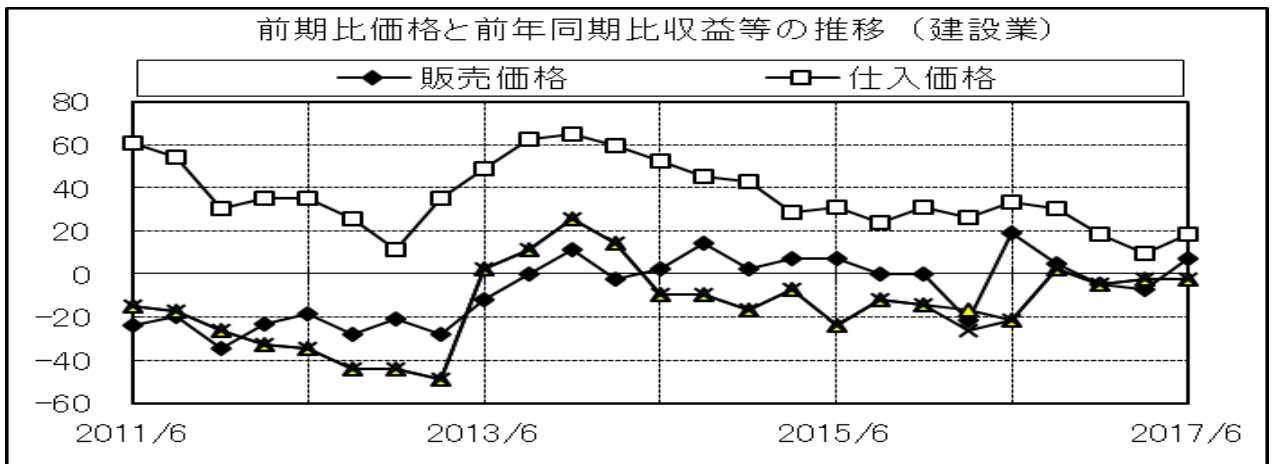
今期の業況判断 D. I. は  $\Delta 2.4$  で、前期比 16.2 ポイント上昇、前年 ( $\Delta 11.9$ ) 比では 9.5 ポイント上昇した。地区別 D. I. の水準は高い順に、静内が一番高く、広尾、浦河・様似が同率で続き、次に三石、えりもが最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は、前期比で 46.5 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は前期比で 37.1 ポイント上昇した。



## □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
請負価格	-4.6	-7.0	6.9	7.0
仕入価格	18.6	9.3	18.6	20.9

請負価格判断 D. I. は 6.9 で、前期比 13.9 ポイント上昇、前年 (19.1) 比では 12.2 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 18.6 で、前期比 9.3 ポイント上昇、前年 (33.4) 比では 14.8 ポイント下降した。



## □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
残業時間	2.3	2.3	2.3	4.6
人手状況	-11.6	-6.9	-16.3	-25.6

残業時間判断 D. I. は 2.3 と前期と同率となり、残業時間の変動は無かった。

人手過不足判断 D. I. は  $\Delta 16.3$  と、前期比 9.4 ポイント下降し、人手不足感が強まった。

## □ 設備投資の動き

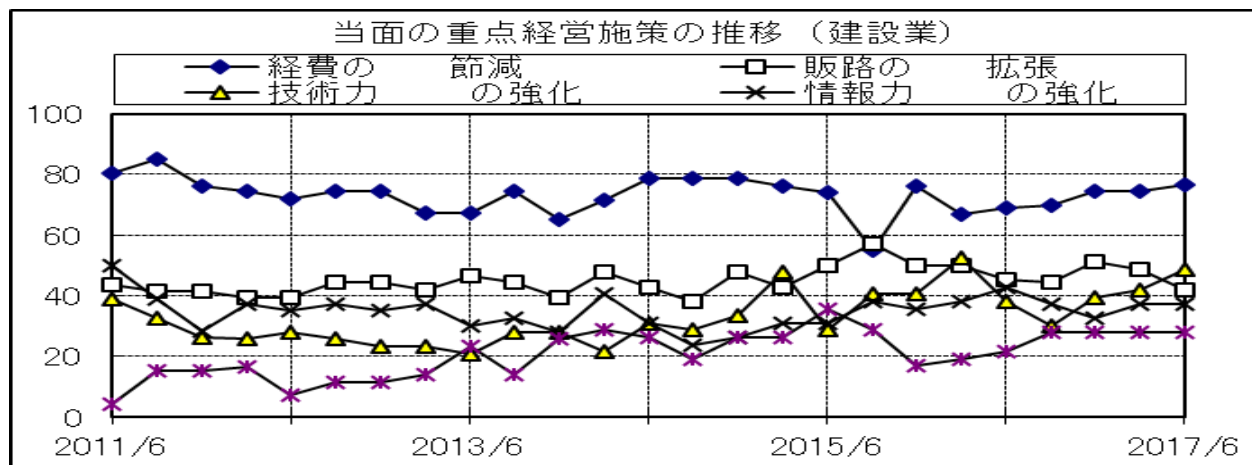
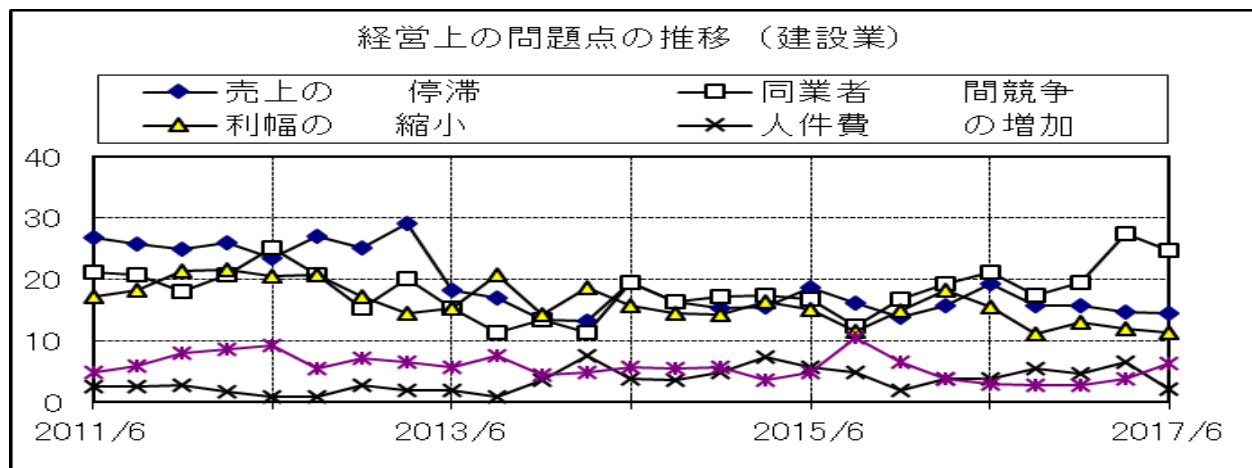
設備投資の充足感を示すD. I.は $\Delta 9.2$ で、前期( $\Delta 4.6$ )比で4.6ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は11.6と、前期(9.3)比で2.3ポイント上昇した。設備投資は、前期4社に対し、5社の実施となった。来期の設備投資は、2社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「同業者との競合」24.7%、「売上の停滞減少」14.4%、「利幅の縮小」・「人手不足」が同率の11.3%、「大手企業との競合」10.3%、「下請けの確保難」8.2%、「地場産業の衰退」6.2%、「材料価格の上昇」・「技術力不足」が同率の4.1%と続いている。

重点経営施策では、「経費を削減する」76.7%、「技術力を高める」48.8%、「販路を広げる」41.9%、「情報力を強化する」37.2%、「人材の確保」27.9%と続いている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I.は7.0と、今期比9.4ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I.は16.3と、今期比13.9ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I.は9.3と、今期比9.2ポイントの下降を見通している。

予想請負価格判断D. I.は7.0と、今期比0.1ポイントの上昇を見通している。

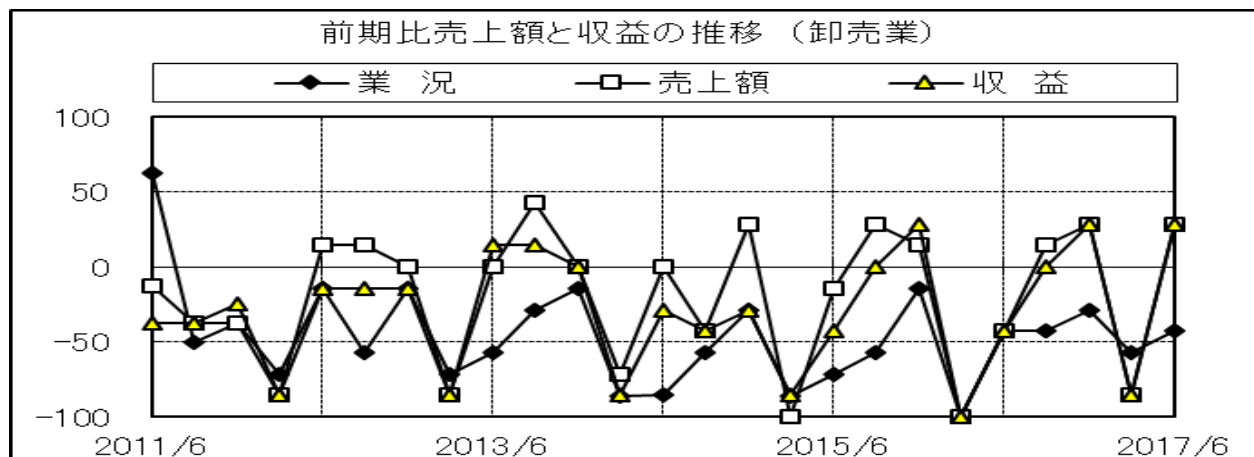
予想仕入価格判断D. I.は20.9と、今期比2.3ポイントの上昇を見通している。

## 卸売業 7企業（回答率 100.0%）の調査結果です

### □ 景況

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
業況	-28.6	-57.2	-42.9	14.3
売上額	28.6	-85.7	28.6	14.3
収益	28.6	-85.7	28.5	14.3

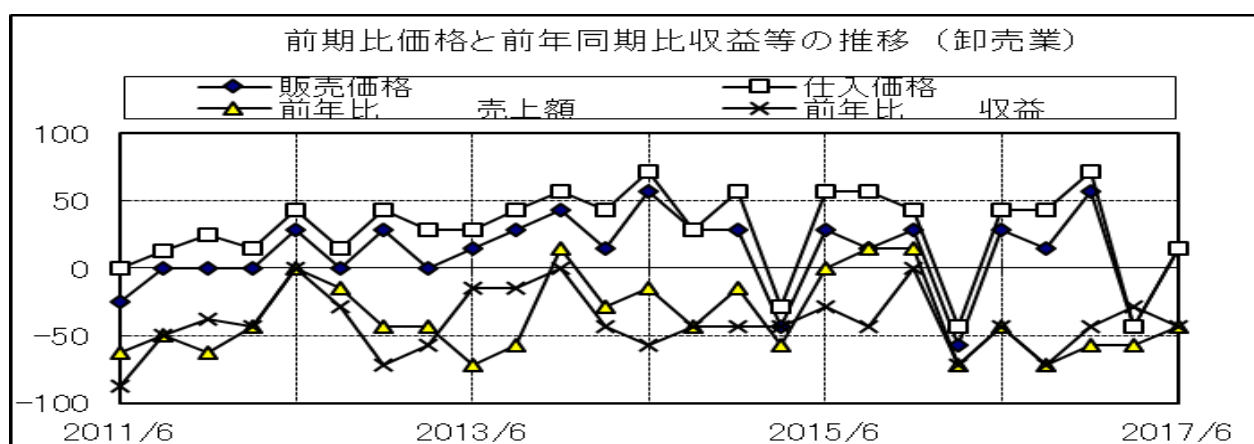
今期の業況判断 D.I. は△42.9 で、前期比 14.3 ポイント上昇、前年(△42.8)比では 0.1 ポイント下降した。地区別の水準は、静内、様似地区が上昇、浦河地区は下降となった。売上額判断 D.I. は 28.6 で、前期比 114.3 ポイント、収益判断 D.I. は 28.5 で、前期比 114.2 ポイントそれぞれ上昇した。



### □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
販売価格	57.2	-42.8	14.3	14.3
仕入価格	71.5	-42.8	14.3	14.3

販売価格判断 D.I. は 14.3 で、前期比 57.1 ポイント上昇、前年(28.6)比では 14.3 ポイント下降した。仕入価格判断 D.I. は 14.3 で、前期比 57.1 ポイント上昇、前年(42.9)比では 28.6 ポイント下降した。業種別では、水産業、食品業が、販売・仕入価格ともに上昇した。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
残業時間	0.0	-28.6	0.0	14.3
人手状況	0.0	0.0	-14.3	-42.9

残業時間判断 D.I. は 0.0 で、前期比 28.6 ポイント上昇し残業時間が増加したとする企業割合が増加した。人手過不足判断 D.I. は△14.3 で前期 14.3 ポイント下降し、人手不足感が強まった。

## □ 設備投資の動き

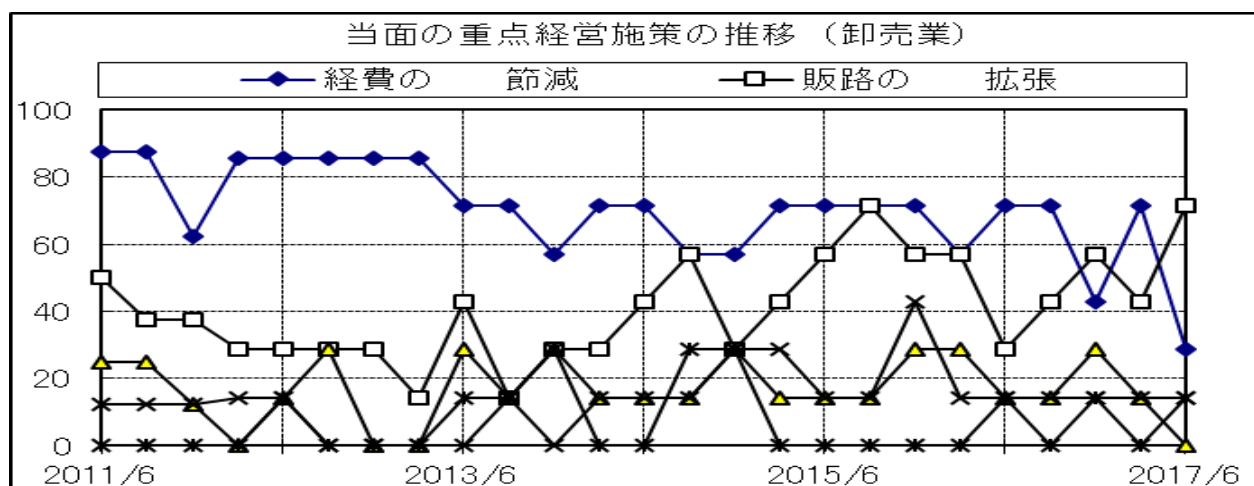
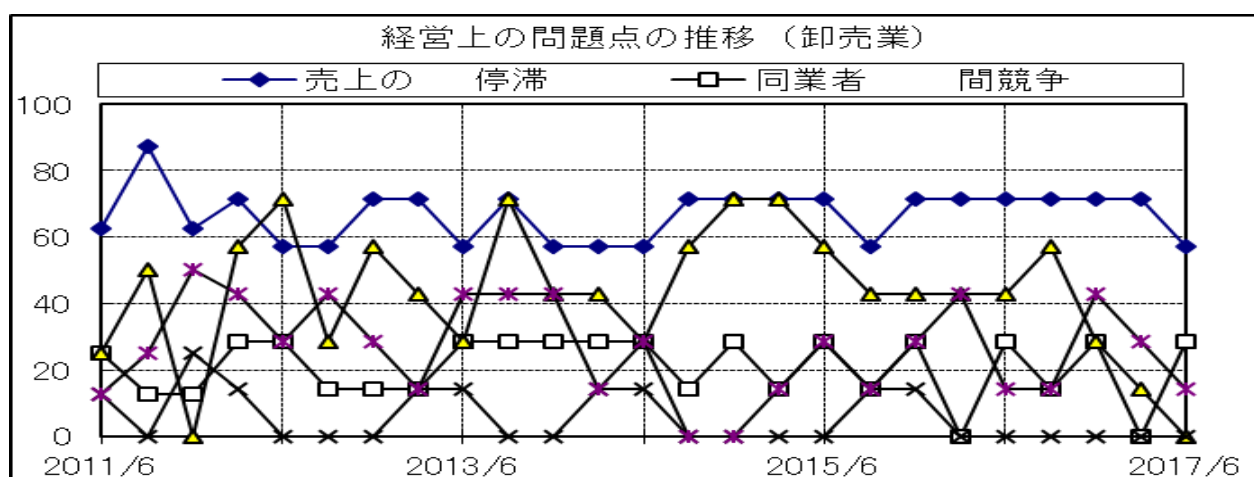
設備投資の充足感を示すD.I.は前期比横這いのゼロ水準となった。

設備実施企業割合は0.0%で前期比42.9ポイント下降、設備投資は、前期3社に対し、0社の実績となった。来期の設備投資予定は1社となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」57.1%、「同業者との競合」・「扱い商品の陳腐化」・「取引先の減少」・「店舗の老朽化」が同率の28.6%、「値下げの要請」・「販売商品の不足」・「天候不順」・「地場産業の衰退」が同率の14.3%で続いた。

重点経営施策では、「販路を広げる」71.4%、「経費の節減」・「品揃えの充実」が同率の28.6%、「新事業を始める」・「人材確保」・「パート化を図る」・「流通経路の見直し」・「不動産の有効活用」が同率の14.3%となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は14.3と、今期比57.2ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D.I.は14.3と、今期比14.3ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D.I.は14.3と、今期比14.2ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D.I.は14.3と、今期比同水準の横ばいを見通している。

予想仕入価格判断D.I.は14.3と、今期比同水準の横ばいを見通している。